

「下水道管路の全国特別重点調査結果（R7.9.17国土交通省公表）」を踏まえた 道路管理者との連携について

令和7年10月21日
県土整備部

資料 9

■ 「全国特別重点調査」の概要

埼玉県八潮市の下水道管路の破損事故を受けて、国土交通省より**管径 2m以上かつ30年以上経過した下水道管路**を対象に調査の要請あり。このうち優先実施箇所は 8 月頃まで、それ以外の箇所については、2 月頃までの実施・報告を要請されている。



●**県流域下水道の調査対象**：最上川流域下水道 山形処理区 山形天童幹線（山形市灰塚～天童市今町）**調査対象延長 約8.8km**
うち**優先実施箇所 約6.4km**

■ 8月時点での調査結果（県流域下水道）

優先実施箇所の調査結果	山 形 県	全 国
優先実施箇所該当延長	約6.4km	約813km
潜行目視やテレビカメラによる目視調査実施済み延長	約6.4km	約730km
緊急度Ⅰ※ ¹ と判定された要対策延長	約2.7km	約72km
緊急度Ⅱ※ ² と判定された要対策延長	約1.8km	約225km
空洞調査実施済み延長	約6.4km	約285km
空洞が確認された箇所	0箇所	6箇所

※1 原則1年以内の速やかな対策が必要と見込まれる延長

※2 応急措置を実施した上で、5年以内の対策が必要と見込まれる延長

本県において空洞は確認されていない。

■ 県の対応（県流域下水道）

- 「山形処理区の関連市町への説明会」を開催（9.18）
- 「優先実施箇所以外」の調査を実施中（2月頃報告予定）
- 緊急度Ⅰの速やかな対策工事に向け、対策工法の検討を開始
- 対策工事の実施まで、下水道管路施設の巡視点検を月1回から2回に強化

■ 道路管理者との連携

- 緊急度Ⅰ・Ⅱの区間においては、対策工事を実施するまでの間に変状が認められた際に速やかに対応できるように連携を図る。
- ①調査結果を道路管理者と共有
- ②道路管理者との連絡体制を構築
- ③道路パトロール時に路面の変状を確認